

米国における対日世論調査について

平成19年6月
外務省広報文化交流部総合計画課

1. 調査方法

(1) 「一般の部」については1,506名を対象に電話調査

(2) 「有識者の部」については256名を対象に電話調査

信頼度は両部門とも95%。サンプル・エラーは「一般の部」±3%、「有識者の部」±6%。

2. 実施時期 2007年2月～3月

3. 調査委託先 ギャラップ社

米国における対日世論調査 (一般の部)

平成 1 9 年 6 月
外 務 省
広報文化交流部総合計画課

調査結果の概要（原則として過去6年のデータを付記。）

設問1 - a：アジア地域の中でどの国が米国にとり最も重要なパートナーであるか。

回答：

	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	(%)
日本	48	45	48	48	47	46	49	
中国	34	33	26	26	20	22	22	
ロシア	8	13	13	9	13	10	6	
韓国	1	1	1	2	2	2	1	
インド	1	1	0	1	0	1	0	
台湾	1	0	1	0	1	1	1	
それら以外の国	2	1	4	4	6	4	4	
ない	1	2	1	3	3	3	4	
意見なし	4	4	6	7	8	11	13	

設問1 - b：なぜその国・地域を最も重要なパートナーとみなしているか（自由回答：上位5位）。

回答：

	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	(%)
(1) 経済的結びつき・米国への投資	17	10	16	15	18	18	32	
(2) 良好な貿易関係	15	10	12	20	15	18	9	
(3) 同盟国・友好関係	15	11	11	10	8	5	5	
(4) 国のサイズ・人口の大きさ	13	8	7	10	7	9	7	
(5) 高い技術力	12	12	12	8	7	7	12	

(注) この設問は1995年より実施。

設問 2 - a) : 日本は信頼できる友邦であると考えてるか。

回答 :

	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	(%)
信頼できる	74	69	72	68	67	67	61	
信頼できない	21	22	21	21	22	23	22	
意見なし	5	9	7	11	11	10	17	

設問 2 - b) : なぜそう思うか。

回答 :

() 「信頼できる」と答えた者が挙げる主な理由 (自由回答 : 上位 5 位)。(%)

	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	(%)
(1) 経済的結びつき・日本の投資	16	9	15	10	13	14	22	
(2) 同盟国・友好関係	14	13	10	10	6	5	6	
(3) 日米間の良好な貿易関係	11	8	10	9	8	9	5	
(4) 第二次世界大戦後に示された友情	7	9	7	3	4	7	4	
(5) 過去の経験・歴史	7	6	4	2	4	3	1	

() 「信頼できない」と答えた者が挙げる主な理由 (自由回答 : 上位 5 位)。(%)

	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	(%)
(1) 特に理由はないが信頼できない	21	8	24	13	18	25	17	
(2) その他	16	0	5	16	4	5	17	
(3) 過去の出来事 (パール・ハーバー以外)	16	11	5	--	--	--	--	
(4) 日本は自国の利益にのみ関心がある	11	4	9	10	8	9	12	
(5) 特に理由なし	9	6	6	5	6	5	6	

設問3 - a : 日本はその経済力にふさわしい重要な国際的役割を果たしていると思うか。

回答 :	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
果たしている	69	68	60	60	56	59	64
果たしていない	25	25	29	29	33	29	21
わからない	6	7	11	11	11	12	15

設問3 - b : 次のそれぞれの分野において日本は重要な役割を果たしていると思うか。

(注) この設問は1994年より実施。「経済援助」の項目のみ1995年から追加。

回答 :	(%)						
() 科学技術	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
果たしている	67	65	57	58	53	56	61
果たしていない	32	34	42	42	46	43	38
分からない	1	1	1	0	1	1	1
() 世界経済	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
果たしている	62	58	53	53	50	51	57
果たしていない	35	38	45	45	47	46	40
分からない	3	4	2	2	3	3	3
() 文化交流	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
果たしている	58	54	49	48	44	44	48
果たしていない	40	43	49	49	54	53	48
分からない	2	3	2	3	2	3	4

() 世界政治								(%)
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	
果たしている	48	44	38	38	37	37	41	
果たしていない	48	51	57	58	59	58	53	
分からない	4	5	5	4	4	5	6	

() 環境、人口問題、エイズ等の地球規模問題(注)								(%)
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	
果たしている	40	41	37	36	30	31	32	
果たしていない	53	51	57	58	63	61	59	
分からない	7	8	6	6	7	8	9	

(注) 1998年までは本項目は「環境」としていた。

() 経済援助								(%)
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	
果たしている	34	36	34	30	22	28	26	
果たしていない	54	52	59	60	68	63	62	
分からない	12	12	7	10	10	9	12	

() 安全保障(含むPKO)								(%)
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	
果たしている	33	35	31	31	25	26	26	
果たしていない	61	56	64	64	70	67	65	
分からない	6	9	5	5	5	7	9	

設問4：日本人と米国人は良く理解し合っていると思うか。

回答：	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
良く理解し合っている	36	38	36	30	28	28	26
普通	49	45	47	50	53	53	51
そうは思わない	14	15	16	18	17	18	21
意見なし	1	2	1	2	2	1	2

設問5：現在の日米間の協力関係を一般的に言ってどう思うか。

回答：	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
極めて良好	13	12	9	8	7	9	4
良好	54	51	52	52	49	51	36
普通	27	29	33	33	35	33	50
良くない	4	4	3	4	6	4	5
意見なし	2	4	3	3	3	3	5

設問6：日米関係は今後どのようになると考えるか。

回答：	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
良くなる	47	42	46	44	40	46	45
変わらない	43	44	42	43	45	42	39
悪化する	8	10	9	8	12	8	10
意見なし	2	4	3	5	3	4	6

(注) この設問は1994年より実施。

設問7：より良い日米関係のため、以下4つの方法のうちいずれが最も有効と考えるか。

回答：	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
(1) 経済・貿易関係の改善	36	36	38	42	35	41	42
(2) 環境、エイズ、人口といった地球的規模の問題における協力の促進	30	28	26	23	22	22	24
(3) 政治的(安全保障を含む)関係の強化	25	21	25	25	32	25	19
(4) 文化交流の促進	8	12	9	7	8	9	10
(5) 意見なし	1	3	2	3	3	3	3

(注) この設問は1995年より実施。1997年より「文化交流の促進」を追加。

設問8：日米間の現在の貿易不均衡の主な理由は何であると考えるか。

回答：	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
(1) 米国産業の競争力の問題	35	33	30	29	23	21	21
(2) 市場アクセス等日本側の問題	32	29	34	37	43	43	44
(3) マクロ経済上の問題	26	30	29	27	26	28	26
(4) 意見なし	6	8	6	6	7	7	9
(5) その他	1	0	1	1	1	1	--

(注) この設問は1994年より実施。

設問9 日本の安全及び極東における国際の平和と安全の維持のため米軍基地を日本国内に設置することを定めた安全保障条約は、同地域の平和及び安定に貢献していると考えるか。

回答：

	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
非常に貢献している	30	25	27	28	31	29	32
やや貢献している	47	46	45	44	43	45	41
わずかしか貢献していない	16	18	18	17	17	16	15
全く貢献していない	4	5	5	6	5	5	5
意見なし	3	6	5	5	4	5	7

(注) この設問は1996年より実施。

設問10 日米安全保障条約は、米国自身の安全保障にとり重要であると思うか。

回答：

	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
極めて重要である	52	55	50	51	55	57	54
ある程度重要である	37	32	36	35	34	31	34
あまり重要でない	7	7	8	9	6	6	5
全く重要でない	3	3	3	3	3	3	3
意見なし	1	3	3	2	2	3	4

(注) この設問は1996年より実施。

設問 1 1 : 米国は現在の日米安全保障条約を維持すべきと考えるか。

回答 :

	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	(%)
維持すべき	87	85	86	85	87	85	85	
そうは思わない	6	7	6	7	6	7	5	
意見なし	7	8	8	8	7	8	10	

(注) この設問は1996年より実施。

設問 1 2 : 日本は防衛力を増強すべきと考えるか。

回答 :

	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	(%)
増強すべき	54	51	52	54	58	52	43	
そうは思わない	40	39	41	38	34	38	47	
意見なし	6	10	7	8	8	10	10	

設問 1 3 : 日本についての知識及び情報はどこから得ているのか (自由回答)。

回答 :

	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
(1) テレビ	80	78	78	77	80	78	81
(2) 雑誌・書籍	72	67	62	68	70	70	70
(3) 新聞	71	71	70	71	75	71	75
(4) 学校教育	51	53	47	58	59	59	56
(6) インターネット	43	38	33	33	27	26	27
(5) 映画	40	39	31	41	39	41	40
(7) ラジオ	34	33	35	35	37	33	36
(8) 友人・隣人	29	30	29	33	35	33	30
(9) 日本人の友人	29	32	30	33	36	37	34
(1 0) 訪日経験	12	11	12	12	12	12	11

(注) この設問は1994年より実施。

設問 1 4 : 次の国・地域は一般的に言って米国と価値観を共有していると思うか。

回答 :

		共有 (非常に共有 / ある程度共有) 少し共有				共有せず	(%) 意見なし
英国	2007年	85	(58	27)	9	4	2
	2006年	77	(53	24)	11	5	7
	2005年	83	(53	30)	9	4	4
	2004年	83	(58	25)	9	5	3
日本	2007年	83	(30	53)	12	3	2
	2006年	78	(31	47)	14	5	3
	2005年	79	(24	55)	15	4	2
	2004年	80	(27	53)	15	3	2
ドイツ	2007年	79	(25	54)	14	5	2
	2006年	72	(28	44)	17	6	5
	2005年	74	(23	51)	17	5	4
	2004年	74	(25	49)	19	5	2
フランス	2007年	62	(13	49)	26	10	2
	2006年	59	(17	42)	24	13	4
	2005年	57	(13	44)	27	12	4
	2004年	56	(15	41)	29	13	2
台湾	2007年	58	(16	42)	27	7	8
	2006年	57	(19	38)	22	12	9
	2005年	56	(15	41)	27	9	8
	2004年	55	(17	38)	30	9	6
ロシア	2007年	52	(7	45)	34	12	2
	2006年	57	(11	46)	27	11	5
	2005年	59	(11	48)	29	9	3
	2004年	59	(11	48)	30	8	3

中国	2007年	45	(8	37)	38	14	3
	2006年	48	(12	36)	32	15	5
	2005年	47	(11	36)	35	15	3
	2004年	44	(12	32)	39	14	3
北朝鮮	2007年	14	(3	11)	32	51	3
	2006年	20	(6	14)	32	42	6
	2005年	19	(5	14)	34	42	5
	2004年	19	(5	14)	35	42	4

(注)この設問は2004年より実施。

設問15：日本に対してどのようなイメージをもっているか。

(下記を読み上げ、当てはまるか、当てはまらないかを質問し、肯定的に回答した割合)

回答：	(%)	
	2007	2006
(1) 豊かな伝統と文化を持つ国	95	94
(2) 経済力・技術力の高い国	94	93
(3) 平和な国	81	78
(4) アニメ、ファッション、料理など 新しい文化を発信する国(注2)	78	--
(5) 自然の美しい国	78	81
(6) 成長力のある国(注2)	78	--
(7) 国際社会においてリーダーシップ を有する国(注2)	64	--
(8) 欧米志向の国	63	62
(9) 民主的な国	51	47
(10) 不可解な国	48	49
(11) 好戦的な国	29	34
(12) 警戒を要する国	29	30

(注) この設問は2006年より実施(注2該当設問を除く)。

(注2) この項目は2007年より実施。

米国における対日世論調査 (有識者の部)

平成 1 9 年 6 月
外 務 省
広報文化交流部総合計画課

調査結果の概要（原則として過去6年のデータを付記。）

設問1 - a：アジア地域の中でどの国が米国にとり最も重要なパートナーであるか。

回答：

	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
日本	53	47	48	65	63	64	72
中国	38	43	38	24	25	23	20
ロシア	5	4	9	7	6	6	3
韓国	1	2	2	1	1	0	1
インド	1	1	2	0	1	1	1
それら以外の国	1	1	1	2	1	2	2
ない	0	0	0	0	1	2	0
意見なし	1	2	0	1	2	2	1

設問1 - b：なぜその国を最も重要なパートナーと見なしているか（自由回答：上位5位）。

回答：

	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
(1) 経済的結びつき・米国への投資	25	35	31	34	19	37	37
(2) 強い経済力	23	20	17	22	33	30	28
(3) 国のサイズ・人口の大きさ	21	20	20	13	15	16	12
(4) 同盟国・友好関係	16	16	15	20	11	8	11
(5) 潜在的な市場の成長性	13	6	10	2	5	2	1

設問 2 - a : 日本は信頼できる友邦であると思うか。

回答 :

	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
信頼できる	91	91	90	89	91	91	85
信頼できない	5	4	6	6	5	5	10
意見なし	4	5	4	5	4	4	5

設問 2 - b : なぜそう思うか。

回答 :

() 「信頼できる」と答えた者が挙げる主な理由 (自由回答: 上位 5 位)。(%)

	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
(1) 経済的結びつき・日本の投資	37	38	34	23	17	24	24
(2) 過去の経験、歴史	16	16	16	10	17	10	12
(3) 第二次世界大戦後の友好関係	14	9	12	10	8	21	8
(4) 共通の利益・価値観	13	12	16	13	11	8	9
(5) 同盟国・友好関係	13	13	14	19	13	11	11
(5) 政治的つながり・米国への支援	13	3	10	10	12	13	9

() 「信頼できない」と答えた者が挙げる主な理由 (自由回答: 上位 3 位)。(%)

	2007	2006*	2005	2004*	2003*	2002	2001
(1) 日本は自国の利益にのみ関心がある	29	70	14	31	38	12	33
(2) その他	21	20	14	6	23	6	22
(3) 特に理由はないが信頼できない	14	20	29	25	8	12	8
(3) 不公平な貿易慣行・貿易不均衡	14	0	7	0	15	6	3
(3) 貿易政策、経済摩擦、米国との競争	14	10	7	0	--	18	6

*2003年、2004年及び2006年については本質問の対象となる人数が非常に少なかったため、数字は参考データとして記載。

設問 3 - a : 日本はどの程度その経済力に見合った国際的役割を果たしていると思うか。

回答 :	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
経済力に見合った役割を果たしている	19	21	19	17	22	18	14
少しは果たしている	51	53	50	48	40	49	47
応分の役割を果たしていない	27	23	29	35	36	31	38
意見なし	3	3	2	0	2	2	1

設問 3 - b : 次のそれぞれの分野で日本は重要な国際的役割を果たしていると思うか (数値は「果たしている」と答えた者の割合) 。

回答 :	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
(1) 世界経済	96	97	97	91	93	94	94
(2) 科学技術	96	97	96	96	96	94	91
(3) 文化交流	68	76	65	60	60	58	56
(4) 地球規模問題	64	73	69	57	59	59	48
(5) 世界政治	61	71	67	62	60	62	57
(6) 開発途上国援助	61	70	70	61	54	63	58
(7) 安全保障	43	45	39	39	24	29	23

(注) この設問は 9 4 年より実施。「地球規模問題」は 9 8 年まで「環境問題」としていた。

設問 4：日本人と米国人は良く理解し合っていると思うか。

回答：

	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	(%)
良く理解し合っている	23	25	23	22	19	17	15	
普通	60	58	60	61	61	59	60	
そうは思わない	16	16	17	17	18	23	25	
意見なし	1	1	0	0	2	1	0	

設問 5：現在の日米間の協力関係を一般的に言ってどう思うか。

回答：

	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	(%)
極めて良好	26	23	19	17	16	15	9	
良好	60	62	64	65	62	66	65	
普通	11	12	14	15	18	15	23	
良くない	0	0	1	1	1	2	1	
意見なし	3	3	2	2	3	2	2	

設問 6 - a : 日米関係は今後どのようになると考えるか。

回答 :

	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	(%)
良くなる	30	42	29	30	34	36	36	
変わらない	58	51	62	59	50	55	50	
悪化する	8	5	5	7	11	6	11	
意見なし	4	2	4	4	5	3	3	

(注) この設問は1993年より実施。

設問 6 - b : 先端技術分野における日米間の関係は今後どのようになると考えるか。

回答 :

	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	(%)
両国の協力関係が進む	52	60	49	47	50	49	39	
競争が激化し、摩擦が進む	42	38	47	48	46	45	56	
意見なし	6	2	4	5	4	6	5	

(注) この設問は1993年より実施。

設問 7：より良い日米関係のため、以下4つの方法のうちいずれが最も有効と考えるか。

回答：	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
(1) 経済・貿易関係の改善	36	44	50	53	47	63	60
(2) 環境、エイズ、人口抑制といった地球的規模の問題における協力の促進	29	27	28	26	22	15	19
(3) 政治的(安全保障を含む)関係の強化	26	20	16	15	26	17	12
(4) 文化交流の促進	8	8	6	5	4	4	6
(5) 意見なし	1	1	0	1	1	1	1

(注) この設問は1995年より実施。

設問 8：日米間の現在の貿易不均衡の主な理由はなんであると考えるか。

回答：	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
(1) 米国財政赤字、日本の内需等マクロ経済の問題	34	33	35	41	35	35	35
(2) 米国産業の競争力の問題	31	32	23	23	11	13	7
(3) 市場アクセス等日本側の問題	30	29	36	32	44	45	52
(4) 意見なし	4	6	6	3	6	6	5
(5) その他	1	0	0	1	4	1	1

設問 9：日本の安全及び極東における国際の平和と安全の維持のため米軍基地を日本国内に設置することを定めた安全保障条約は、同地域の平和及び安定に貢献していると考えるか。

回答：

	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
非常に貢献している	47	42	40	43	55	49	50
やや貢献している	41	40	40	37	28	32	33
わずかしか貢献していない	6	14	14	15	11	12	13
全く貢献していない	4	3	4	4	3	4	3
意見なし	2	1	2	1	3	3	1

設問 10：日米安全保障条約は、米国自身の安全保障にとり重要であると思うか。

回答：

	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
極めて重要である	57	51	48	46	48	54	42
ある程度重要である	31	37	34	37	36	31	40
あまり重要でない	8	8	14	13	9	8	12
全く重要でない	2	1	2	3	5	5	4
意見なし	2	3	2	1	2	2	2

設問 1 1 : 米国は現在の日米安全保障条約を維持すべきと考えるか。

回答 :	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
維持すべき	88	90	83	83	87	87	85
そうは思わない	6	4	6	9	5	7	10
意見なし	6	6	11	8	8	6	5

(注) この設問は1996年より実施。

設問 1 2 - a : 日本は防衛力を増強すべきと考えるか。

回答 :	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
増強すべき	67	61	69	66	65	64	67
そうは思わない	25	33	25	27	27	28	28
意見なし	8	6	6	7	8	8	5

設問 1 2 - b : 日本が防衛力を増強すべきとする場合の理由 (数値はその理由を肯定した者の割合) 。

回答 :	(%)						
	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
アジアにおける平和と安定に寄与するため	97	97	97	97	96	95	96
米国と負担を分かち合うべき	94	93	94	93	96	93	94
自ら防衛すべき	92	94	91	92	89	87	88

(注) この設問は1993年より実施。

設問 1 3 : 日本についての知識及び情報はどこから得ているのか (自由回答)。

回答 :

	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
(1) 新聞	89	90	89	93	95	91	94
(2) 雑誌・書籍	83	89	85	88	93	89	93
(3) テレビ	72	80	71	76	72	65	67
(4) 学校教育	61	62	51	56	57	56	64
(5) インターネット	60	56	50	52	47	44	45
(6) ラジオ	48	48	46	47	43	45	41
(7) 日本人の友人	46	52	53	51	54	56	62
(8) 友人・隣人	38	41	41	44	44	44	46
(9) 映画	32	40	30	42	39	35	38
(1 0) 訪日経験	24	31	30	26	39	38	42

設問 1 4 : 次の国・地域は一般的に言って米国と価値観を共有していると思うか。

回答 :

		共有 (非常に共有 / ある程度共有) 少し共有 共有せず				(%)	
						意見なし	
英国	2007年	96	(84	12)	2	1	1
	2006年	96	(83	13)	2	1	1
	2005年	96	(78	18)	2	2	0
	2004年	98	(86	12)	1	1	0
日本	2007年	94	(42	52)	5	0	1
	2006年	96	(42	54)	3	0	0
	2005年	91	(39	52)	8	1	0
	2004年	95	(42	53)	4	1	0
ドイツ	2007年	92	(47	45)	5	1	2
	2006年	94	(45	49)	5	1	0
	2005年	92	(40	52)	6	2	0
	2004年	96	(49	47)	3	1	0
台湾	2007年	83	(30	53)	10	3	4
	2006年	83	(32	51)	13	2	2
	2005年	84	(32	52)	12	2	2
	2004年	84	(30	54)	13	2	1
フランス	2007年	74	(27	47)	19	6	1
	2006年	81	(24	57)	15	3	1
	2005年	76	(24	52)	19	4	1
	2004年	78	(27	51)	16	6	0
ロシア	2007年	58	(3	55)	36	4	2
	2006年	69	(7	62)	28	3	0
	2005年	69	(4	65)	27	4	0
	2004年	74	(10	64)	23	1	1
中国	2007年	45	(4	41)	45	8	2

	2006年	55	(8	47)	38	7	0
	2005年	50	(6	44)	39	10	1
	2004年	46	(5	41)	43	11	0
北朝鮮	2007年	6	(1	5)	27	66	1
	2006年	14	(2	12)	29	55	2
	2005年	9	(1	8)	23	66	2
	2004年	9	(1	8)	29	61	1

(注)この設問は2004年より実施。

設問 1 5 - a : 日本が新たに国連安保理の常任理事国となるべきだと思いますか。(注)

回答 : (%)

2007

- | | |
|---------------------|----|
| (1) 思う | 52 |
| (2) 思わない | 42 |
| (3) 分からない、どちらでもよい | 6 |

(注)この設問は2007年より実施。

設問 1 5 - b : 「思う」と答えた場合、その理由(複数回答可)(数値はその理由を肯定した者の割合)。

回答 : (%)

2007

- | | |
|--|----|
| (1) 常任理事国入りした日本が国際の平和と
安全に果たす今後の役割に期待するから | 96 |
| (2) 信頼できる同盟国であるから | 87 |
| (2) 経済大国である日本の存在は
安保理機能の実行性を強化するから | 87 |
| (3) 民主主義、人権といった | |

価値観を共有する国であるから	87
(4) 日本は国際の平和と安全に 大きな貢献を行っているから	75

(注) この設問は2007年より実施。

設問 15 - c: 「思う」と答えた場合、日本の常任理事国入りの実現に向けて、米国はどのようなことができる或いはすべきだと思うか。

回答:	(%)
	2007
(1) 自ら先頭に立って活動することはしないが 日本の常任理事国入りに消極的な国を説得すること	53
(2) 日本の進める安保理改革を支持し、 自らも積極的に活動すること	33
(3) 二国間でモラル・サポートを行う以上のことは する必要はない	10
(4) 無回答	3
(5) その他	1

(注) この設問は2007年より実施。

(了)